

## 「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2018年度分）

31年 1月 31日

計画班名：A01-1

申請者氏名・所属・職名：安田一郎・李 根滄

申請者連絡先 電話・メール：内 66040 [ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp)

対象者氏名・所属・職名： 同上

対象者連絡先 電話・メール：内 66040 [ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp) [leekj@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:leekj@aori.u-tokyo.ac.jp)

相手先氏名・所属・職名： Romain TRICARICO・フランス Alseamer 社・  
International Sales Manager (MSc)

相手先連絡先 住所・電話・メール：9 Europarc 13590 MEYREUIL - France  
Tel : +33(0) 442 990 405 Mob : +33(0) 681 017 177 [RTRICARICO@alseamar-alcen.com](mailto:RTRICARICO@alseamar-alcen.com)

申請項目（複数可、数字を記入）：

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他 (6)

申請課題名：新型グライダーの運用研修

成果報告要旨：2018年度の導入した新型水中グライダーSeaExplorerの運行を制御する研究を受けるために、製造元であるフランス・Alseamer社において、運用についての研修を2019/2/2-11に受けた。2019/4/19-28の新青丸航海での観測で実行する。船上から直接イリジウムを受信し、グライダーを制御することができるようになった。

全体計画・計画研究との関連：水中グライダーを用いた観測システムの構築はA01-1の重要な課題であり、実海域での観測もあることから早急に実施する必要がある。この手法を改良・発展させるとともに、情報交換を図ることは、本新学術に重要な貢献をすると考えられる。

制度の改善点・感想等：

実際の日程：

2019年2月2日 日本発 フランス・マルセイユ空港・着

2月2-9日 Alseamer社にてグライダー運用研修

2月11日マルセイユ発 12日日本着

2/10 マルセイユ発 2/11 日本着の予定だったが、マルセイユ発の航空機が整備不良で欠航となり、1日日程がのびた

使用した予算内訳（旅費とその他の経費に分けて記述）：